

## 第4学年国語科 年間学習計画

### 目標

- (1) 相手や目的に応じ、調べた事などについて、筋道を立てて話す能力、話の中心に気を付けて聞く能力、進行に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、工夫しながら話したり聞いたりしようとする態度を育てます。
- (2) 相手や目的に応じ、調べた事などが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身につけさせるとともに、工夫しながら書こうとする態度を育てます。
- (3) 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身につけさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てます。

### 年間学習計画

| 学期                 | 単元・題材名  | 学習内容   |
|--------------------|---|--|
| 前<br><br><br><br>期 | 1 音読しよう<br>「こわれた千の楽器」<br>○図書館へ行こう<br>○心の動きを伝えよう<br>○漢字の読み方に気をつけよう   | 場面の様子や人物の気持ちが伝わるように、工夫して音読する。<br>本の探し方を確かめる。<br>気持ちが伝わるように工夫して文章を書く。<br>漢字の音訓や送りがなを理解する。   |
|                    | 2 説明のまとまりを見つけよう<br>「ヤドカリとイソギンチャク」<br>○案内係になろう<br>☆漢字辞典の使い方を知ろう  | 段落と段落の結びつきをとらえ、文章のまとまりを考えながら読む。<br>相手が知りたいことを考え、必要なことを選んで話す。   |
|                    | 3 人物の変化をとらえよう<br>「走れ」<br>○メモの取り方をくふうして聞こう<br>○ローマ字<br>○みんなで新聞を作ろう<br>○「ことわざブック」を作ろう<br>○本は友達<br>○詩を読もう<br>「ふしぎ」「よかったなあ」 | 中心となる人物に気をつけて、様子や気持ちを考えながら読む。<br>事柄と事柄の関連に気をつけて話を聞き、工夫してメモを取る。<br>見出しや割り付けを考えて、読み手の興味を引くわかりやすい新聞を作る。<br>ことわざや故事成語について知り、ことわざの意味を理解して使う。<br>自分の興味に応じた本を読む。<br>場面の様子を思い浮かべながら、詩を声に出して読む。 |
|                    | 4 身の回りの文章を読みくらべよう<br>「広告と説明書を読みくらべよう」<br>○文の組み立てを考えよう<br>○わたしの考えたこと   | 広告と説明書の文章を読み比べ、それぞれの目的に合わせた表現の違いを読み取ることができる。<br>主語・述語・修飾語それぞれの働きを理解し、文の構成をとらえる。<br>自分の考えとその理由を明確にし、組み立てを考えて文章を書く。  |
|                    | 1 感想を伝え合おう<br>「ごんぎつね」<br>○ある人物になったつもりで  | 場面の移り変わりに気をつけて、人物の気持ちの変化をとらえる。<br>絵に描かれた人物の立場からとらえた物語を書く。  |

|          |   |   |
|----------|---|---|
| <p>後</p> | <p>○文と文をつなぐ言葉の働きを考えよう<br/>○クラスで話し合おう</p> <p>○お願いやお礼の手紙を書こう</p> <p>2 暮らしの中にある「和」と「洋」を調べよう<br/>「暮らしの中の和と洋」<br/>同じ読みの漢字に気をつけよう</p> <p>3 読書会を開こう<br/>「世界一美しいぼくの村」<br/>○言葉をつなげて</p>                  | <p>文と文を接続する言葉の働きを理解する。<br/>司会者、提案者、参加者と言う役割を意識しながら議題に沿って話し合う。<br/>目的に合わせて内容を考え、必要な事柄を落とさずに、依頼状や礼状を書く。</p> <p>まとめりごとの内容を考えながら読み取る。<br/>それぞれの漢字には意味があることを理解し、同音・同訓の漢字を使い分ける。</p> <p>つながりのある物語を読み、物語の中の言葉や文を引用して友達に紹介する。<br/>友達と協力して連詩を作る。<br/>短歌を声に出して読んで、言葉の響きやリズムを感じ取るとともに、情景を思い浮かべる。</p> |
| <p>期</p> | <p>○「百人一首」を声に出して読んでもみよう</p> <p>4 わたしたちの生活とロボットについて考えよう<br/>「ゆめのロボット」を作る<br/>○漢字を使って読みやすい文を書こう<br/>○報告します、みんなの生活<br/>○目的や形式に合わせて書こう</p> <p>5 音読げきをしよう<br/>「木竜うるし」(人形劇)<br/>○「言葉のタイムカプセル」を残そう</p> | <p>筆者の考えがどんな言葉で表されているかに注意して読む。</p> <p>漢字と仮名の特徴を知り、漢字仮名交じり文の利点を理解する。<br/>アンケートで調べた結果を図表に整理して、聞き手にわかりやすく伝える。<br/>伝える目的と形式を考え、工夫して書く。</p> <p>場面の様子や人物の気持ちの変化をとらえ、音読劇を通じてそれらを表現する。<br/>一年間で書いた文章を読み返し、現在に自分について確かめ、将来の自分へ手紙を書く。</p>   |

## 評価について

- 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する関心を深め、工夫しながら話したり聞いたり書いたり、幅広く読書したりしようとする。
- 相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話したり、話の中心に気をつけて聞いたり、進行に沿って話し合ったりしている。
- 相手や目的に応じ、調べたことなどなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書いている。
- 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら本や文章を読んでいる。
- 伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴やきまり、文字の使い方などについて理解し使ったりするとともに、文字を形や大きさ、配列、筆圧などに注意して書いている。